

情報システム学をめぐる海外の動向

— 15th ICIS (International Conference on Information Systems) 参加報告 —

中嶋 閑多

文教大学情報学部情報システム学科

1994年12月14日から17日までの4日間、バンクーバーで開催された情報システムに関する国際会議(ICIS : International Conference on Information Systems) に出席したので、その概要について報告する。

Report on the 15th International Conference on Information Systems

Monta NAKAJIMA

Bunkyo University

Faculty of Information and Communication

Namegaya, Chigasaki 253, Japan

This report describes an overview of the 15th International Conference on Information Systems, which was held in Vancouver, British Columbia, Canada during December 14-17, 1994.

1. はじめに

1980年、フィラデルフィアで開催された、初の情報システムに関する会議 (the First Conference on Information Systems) は、その後、ICIS (International Conference on Information Systems) と名を変え、毎年多くの研究発表を世に送り出してきた。今日、ICISは、情報システムに関する国際会議としてたいへん重要な役割を担うようになっている。この会議はもともと、米国のビジネス・スクールが中心となって、それまで乖離しがちであった学界と産業界が、情報システムをめぐるさまざまな問題について共に考える場を提供するところに主眼があった。しかし回を重ねるにつれて、情報システム学研究の中心的存在となつていった。

1990年、それまで米国内で持ち回りでおこなわれてきたICISが、はじめてコペンハーゲンで開催された。その後、3回の米国開催を経て、第15回の国際会議がバンクーバーで開かれたわけである。それは90年代に入ってICISが、名実ともに国際会議として機能しはじめたことを意味する。ちなみに今後の開催地には、アムステルダム (1995)、オハイオ州クリーブランド (1996)、ジョージア州アトランタ (1997)、フィンランドのヘルシンキ (1998) がそれぞれ予定されている。

今回のICISにはもう一つ特筆すべきことがある。それはこの会議を支えてきたメンバーが中心となって、情報システム学会 (AIS : Association for Information Systems) を創設したことである。AISは、情報システム領域を専門とする初の学会として、今後もICISを支援するとともに、世界を3つの地域 (アメリカ、欧州・中東・アフリカ、アジア・太平洋) に分け、それぞれの地域で年1回、情報システムに関する会議を開催するなど、さまざまな活動を計画している。

以下、第15回国際会議のあらましについて報告する。

2. 会議の概要

2.1 開催場所と期間

Hyatt Regency, Vancouver, British Columbia, Canada

Dec. 14-17, 1994

2.2 テーマ

情報システムによる生産性の改善と価値の付与

2.3 組織

Conference Co-Chairs : Izak Benbasat, Robert C. Goldstein (UBC)

Conference Administrator : Wendy Bishop (UBC)

Program Co-Chairs : Sid L. Huff (U. Western Ontario), Malcom Munro (U. Calgary)

Consortium Co-Chairs : Robert D. Galliers (Warwick Business School)

Suzanne Rivard (Ecole des Hautes Etudes Commerciales)

Yair Wand (UBC)

Consortium Arrangements : Rebecca Grant (U. Victoria)

Doctoral Reception : Christopher V. Jones (Simon Fraser U.)

Finance Chair : Albert S. Dexter (UBC)

Local Arrangements : Carson C. Woo (UBC)

International Liaisons : Michael Newman (U. Manchester), Richard T. Watson (U. Georgia)

Natioal Sponsors : Ephraim R. McLean (Georgia State U.), James D. McKeen (Queen's U.)

Placement : Peter Todd (Queen's U.), Henri Barki (Ecole des Hautes Etudes Commerciales)

Exhibits : Blaize Reich (Simon Fraser U.)

Publications : Janice I. DeGross (U. Minnesota)

協力団体 : ACM AIS IFIP TIMS SIM

2.4 会議の構成

本会議は、前後2つのキーノート・スピーチを除き、48のセッションが6つのトラックに別れ、平行して進められる形式でおこなわれる。さらに会議の開催期間中、情報システム関連ソフトや書籍の展示会が開催されている。またICIS独自の企画として、毎年、本会議開催前に、各地のビジネス・スクールから選抜された博士課程学生を対象に、ドクトラル・コンソーシアムが開催され、優秀学位論文は会議期間中に表彰される。

会議のおもな日程とプログラムは以下の通りである。

●12月15日 (木)

(Session T1) Opening Plenary Session

PCコミュニケーションの進化 George F. Heider (Intel Co.)

(Session T2.1) Research Papers - ISの研究手法 : 測定の諸問題

IS研究におけるスケールの開発 : 単次元性を組み込んだパラダイムとその評価

Segars, A. H. (Boston College)

IS操作トランザクションの次元を評価する尺度の開発

Aubert, B. A. (Universite Laval) et al.

(Session T2.2) Research Papers - 戦略的なIT連携

競争優位、戦略的資源、情報技術 : ある経験的研究

Sprague, R. L. et al. (the Claremont Graduate School)

適性のダイナミクスとダイナミクスの適性 : 動的組織におけるIT連携

Sauer, C. et al. (U. New South Wales)

(Session T2.3) Research in Progress - 人間の情報処理における諸問題

問題解決における線形および非線形な情報表示のインパクトに関する実験研究

Ramarapu, N. K. (U. Tennessee) et al.

生産性のパラドックスへの対処 : 精神生理学的観点に対するニーズ

Wastell, D. G. (U. Manchester) et al.

SQLの学習における人間的要素の実験 : 概念モデルとコンピュータ・インターフェイスの役割の進化

Yen, M. Y. (U. Alaska)

(Session T2.4) Panel - 動く標的を撃たんとして : ACM/DPMA/AIS/ICIS合同提案による学部学生用IS

カリキュラム更新に関する報告

(Session T2.5) Tutorial - IS研究における簡易モデリングのための部分最小2乗法

Chin, W. et al. (U. Calgary)

(Session T2.6) Panel - 情報技術のための戦略的ビジョン : 5W1H

(Session T3.1) Research Papers - ファイルとデータ・アクセス

ユーザーの情報ベースを拡張するための新たなファイル・アクセスのパラダイム

Fritz, J. M. (U. New Brunswick) et al.

問い合わせの箱 : データベース情報検索によるユーザーの生産性評価の枠組み

Chan, H. C. et al. (National U. Singapore)

- (Session T3.2) Research Papers – IT経済と管理法
情報技術アウトソーシングのための組織経済的な青写真：概念と証明
Loh, L. (National U. Singapore)
ITアウトソーシングにおける契約とパートナーシップ
Fitzgerald, G. (U. London) et al.
- (Session T3.3) Research in Progress – 情報システムの理論と実践
分解と意味づけ：ある理論と経験的テスト
Weber, R. (U. Queensland)
情報システムアウトソーシングの次元
Nam, Kichan (U. Massachusetts) et al.
ソフトウェア・メンテナンスの生産性と品質を調査して：ソフトウェアの複合は重要か？
Banker, R. D. et al. (U. Minnesota)
- (Session T3.4) Tutorial – 地理情報システム：ビジネス・スクールにおけるその将来の位置づけ
Mennecke, B. E. (East Carolina U.) et al.
- (Session T3.5) Panel – 国際的な情報システム学雑誌：それらは北米のものとのどのように異なるのか？
- (Session T3.6) Panel – 情報考古学：過去の成功から学ぶべきものを発掘する
- (Session T4.1) Research Papers – ISの成功を測る
IS成功のDeLoneとMcLeanのモデルの部分テストと開発
Seddon, P. et al. (U. Melbourne)
情報システムの効果の測定：測定道具の評価
Scott, J. E. (U. California, Irvine)
- (Session T4.2) Research Papers – 情報技術の社会的インパクト
管理者による頻繁な電子メールの利用が現れるソースとしての解釈学的サークル
Lee, A. S. (U. Cincinnati)
組織における社会的統制にむけてのIT選択
Elofson, G. (Emory U.)
- (Session T4.3) Research in Progress – ISとビジネス：インターフェイスの管理
ライン管理職におけるIT能力の構築：最良の実践の探求
Reich, B. H. et al. (York U.)
ビジネス価値のための連携：ISインフラの分散管理
Beath, C. M. (Southern Methodist U.) et al.
ビジネス・プロセス・リエンジニアリング：いかにしてIS管理者は彼らの成功のチャンスを増大できるか？
Bashein, B. J. et al. (Claremont Graduate School)
- (Session T4.4) Panel – 情報システム研究戦略の進化
- (Session T4.5) Panel – 組織間のビジネス・シミュレーションとゲーミング：情報システム学カリキュラムを再考する
- (Session T4.6) Panel – 情報技術生産性のパラドックス：IT管理者および研究者の直面する問題

●12月16日 (金)

(Session F1.1) Research Papers - 大規模EDIの採用と利用

貿易業界によるTradenetの採用：経験的分析

Neo, B. S. et al. (Nanyang Technological U.)

組織および組織間の生産性を改善するためのEDISの導入：世界で最も多忙な港からの知見

Teo, H. H. et al. (National U. Singapore)

(Session F1.2) Research Papers - グループ支援システム研究における諸問題

グループ支援システムにおける構造と技術の識別：プロセス複合の役割

Wood, J. G. (U. Maryland) et al.

グループ支援システム研究のための組織文化的観点

Serida-Nisjimura, J. F. (U. Minnesota)

(Session F1.3) Panel - 情報のプライバシー：我々の責任は何か？

(Session F1.4) Panel - 国家的IT政策：欧州と米国の観点

(Session F1.5) Tutorial - HAT(Hyper Analysis Toolkit)：教員の開発によるソフトウェアにおける事例研究

Griggs, K. et al. (U. Hawaii)

(Session F1.6) Panel - 情報化時代の電子出版：アカデミーに対する質問

(Session F2.1) Research Papers - ITの利用者と利用の理解

認められた利用容易性の決定子のモデル化

Venkatesh, V. et al. (U. Minnesota)

ユーザーの態度、行動、パフォーマンスにおける同僚の影響の経験的研究

Galleta, D. F. et al. (U. Pittsburgh)

(Session F2.2) Research Papers - ITの価値と生産性

生産性とマクロ文化の立法化

Laudon, K. C. (New York U.) et al.

ITの価値の3つの側面：理論と証明

Hitt, L. et al. (MIT)

(Session F2.3) Research in Progress - 企業と産業のレベルにおけるITのインパクト

中間的な業績の企業における情報技術投資の効果

Rai, A. et al. (Southern Illinois U.)

小規模開発国におけるIT産業の成功

Ein-Dor, P. (Tel Aviv U.) et al.

シンガポールにおけるIT投資の生産性へのインパクト

Wong, P. K. (National U. Singapore)

(Session F2.4) Tutorial - 情報技術と組織変容：ハリケーンの目の中の研究問題

(Session F2.5) Panel - 企業人のためのシステム分析技法：これらの技法はIS専門家のものとどのように異なるべきか

(Session F2.6) Panel - 時の経過とともに：グループはいかに変わるか？

(Session F3.1) Research Papers - ソフトウェアのメンテナンスとリプレース
プロジェクトの大きさとソフトウェア・メンテナンスの生産性：ソフトウェア・メンテナンスに
おける規模の経済に関する経験的証明

Mukhopadhyay, T. (Carnegie Mellon U.)

ソフトウェア・リプレースのタイミング

Chan T. et al. (National U. Singapore)

(Session F3.1) Research Papers - 組織におけるITの評価と管理

バーチャル・プロセス測定によるITの価値づけ

Nissen, M. K. (U. Southern California)

ラジカルな変化の実現：漸進的 vs 急進的ペース

Gallivan, M. J. et al. (MIT)

(Session F3.3) Research in Progress - デスクトップにおける学習と意思決定

デスクトップ・ビデオ会議による遠隔協同学習

Wheeler, B. C. et al. (Indiana U.)

社会的ジレンマの中での集団および個人の選択に対するコンピュータ利用のインパクト

Melone, N. P. (U. Oregon) et al.

リアルタイム意思決定支援：リアルタイム集団意思決定支援システム内に埋め込まれた知識ベースシステムの開発と評価

Sanborn, S. D. (Rensselaer Polytechnic Institute)

(Session F3.4) Panel - 成功のためのITプロジェクト管理：リエンジニアリングまたはよりよいプロジェクト管理

(Session F3.5) Panel - ITによって支援された組織記憶：それはいかにして組織的学習に影響を及ぼすか

(Session F3.6) Panel - 知識の記述から情報システムへ：2つの異なるアプローチ

(Session F4.1) Research Papers - IS研究方法：データ分析の問題

データ表示とタスク・パフォーマンスにおけるタスク変数間の相互作用の相乗効果

Wilson, E. V. (U. Colorado) et al.

事例に基づくエキスパート・システム・アプリケーションのためのデータ隠蔽分析の利用

Troutt, M. D. et al. (Southern Illinois U.)

(Session F4.2) Research Papers - ITが可能にするパフォーマンス拡大のためのアプローチ

GSSの価値の評価における個人のインプットの重要性：GSS研究者のために多種または単一種の集団を認知的に創り出すための学際的アプローチ

Massey, A. et al. (Clarkson U.)

情報梃子の理論：IT効果連鎖の理解へのプロセス・レベル・アプローチ

Tinaikar, R. (U. Pittsburgh)

(Session F4.3) Panel - リエンジニアリングの理論はあるか？

(Session F4.4) Panel - システム開発方法論における実験研究：機会と挑戦

(Session F4.5) Workshop - 質的データ分析のための2つの技法：物語風の記述と一般化

(Session F4.6) Tutorial - ISカリキュラムにおける遠隔通信
Cummins, J. M. (Emory U.) et al.

●12月17日 (土)

(Session S1.1) Research Papers - ISの成長と開発のための計画
情報システム計画の革新的（進化的）発展段階モデル
Burn, J. M. (Hong Kong Polytechnic U.)
アプリケーション・ポートフォリオの構築：あるプロセス分析
Soh, C. et al. (Nanyang Technological U.)

(Session S1.2) Research Papers - ISサービスの質
情報システムにおけるサービスの質の長期的測定：ある事例研究
Pitt, L. F. (Henley Management College) et al.
ベンダーの提供する情報サービスによる顧客満足度の行動的指標
Heckman, R. L. (Syracuse U.) et al.

(Session S1.3) Panel - 西暦2,000年におけるITの拡がり：アジア太平洋地域のコンテキスト

(Session S1.4) Panel - 企業統合のための情報技術

(Session S1.5) Panel - データの質：1990年代以降の重要な研究課題

(Session S1.6) Panel - 南アフリカにおけるコンピュータ支援による連携教育と開発

(Session S2) Closing Plenary Session - 企業システムを再定義する6つの異なった技術動向
Spund, L. (Apple Computers Inc.)

3. おわりに

情報システムの研究では、シーズからのアプローチばかりでなく、ニーズからのアプローチが重要である。ICISに集う研究者たちは、まさにこのような立場で研究を進め、その活動は情報システム学という一つの学問領域を形成している。残念なことにわが国では、いまだこの方面の研究が立ち遅れているが、次世代を担う若手研究者の積極的な参入が期待される場所である。

【参考文献】

DeGross, J. I. et al. (eds.) Proceedings of the Fifteenth International Conference on Information Systems, 1994.